

【会場】

大分大学 (日本), 鹿児島大学 (日本), 長崎大学 (日本), 福岡大学病院 (日本), 久留米大学 (日本), 熊本大学 (日本),九州大学病院 (日本), 宮崎大学 (日本), 佐賀大学 (日本), 琉球大学 (日本)

【概要】

第66回日本臨床検査医学会 九州地方会と、第32回日本臨床化学会 九州支部総会の合同地方会を開催した。九州内の会員約150名が参加し、19の一般演題と、九州大学伊藤教授からの特別講演がリアルタイムで実施された。さらに、学会の総会および評議委員会もオンラインで開催することができた。



モニタに表示される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



コメントするDr.内海。

撮影場所：九州大学病院

【はじめに】

冠動脈瘤は、冠動脈の末梢一部が心腔内や肺動脈などの本来とは異なる部位に開口する先天性の走行異常で、先天性心疾患の0.2~0.4%と比較的稀な疾患である。

近年、超音波検査や冠動脈造影検査において偶然に発見される機会が増加している。

背景

気道において好酸球性炎症が起こると、上皮細胞由来の炎症性サイトカインにより一酸化窒素(以下NO)合成酵素が発現しNOの産生が亢進する。このため、呼気中NO濃度(以下FeNO)から気道の好酸球性炎症の程度を推測することができる。FeNOは主に喘息の気道炎症の程度を調べる検査で、一酸化窒素やエタンなどと比べ喘息に対し特異的に上昇するが、様々な因子の影響を受けることに注意する必要がある。影響因子にはFeNOを上昇させるものと減少させるものがあり、結果を評価する際にはこれらの因子を念頭に置く必要がある。

呼気NOに影響する交絡因子	
減少	上昇
先天性睫毛運動機能不全症	喘息(特に未治療時著明)
食物アレルギー	アレルギー性鼻炎
呼吸機能検査(最大努力を要す)、運動	アトピー
飲酒	気道感染(ウイルス性)
喫煙	気管支拡張剤
HIV感染	硝酸塩が豊富な食物摂取

ATS/ERS Recommendations 2005 Am J Respir Crit Care Med Vol 171 pp 912-930, 2005 引用

提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院

提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院

Leucine rich alpha 2 glycoprotein (LRG) の検討報告

久留米大学病院 臨床検査部  
井上弘子 三橋徹也 早田峰子 井上賢二 川野祐幸 中島収  
久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門  
桑木光太郎 吉岡慎一郎 光山慶一 鳥村拓司

提示されたスライドと参加者。

撮影場所：九州大学病院



接続を調整するエンジニア。

撮影場所：九州大学病院